

# 1. 千秋公園に関する提案と意見

提案内容	提案内容に対する意見
<p>千秋公園に百年の大計を！            建都400年を機に千秋公園に百年の大計を図る。            例えば、公園直下の和洋高校からJ A一帯にかけて駐車場を設けることや、官民の大幅な移転により城地の再現を図り、往事の史跡が散見できるようにする。</p>	<p>平成8年度に策定した千秋公園再整備基本計画では、将来的整備構想として公共建築については、景観的統一を図り、学校等については景観的調和または移転を目指すこととしている。今後関係機関と調整を図りながら検討していく。(都開)</p>
<p>中土橋通りに朱色の太鼓橋建設            市内名所に絵葉書になるような景色を補う。</p>	<p>千秋公園再整備基本計画には、この箇所への橋建設の計画はない。しかし、黒門の整備に併せて唐金橋の整備については計画に盛り込まれていることから、今後の財政事情を見極めながら整備について検討していく。(都開)</p>
<p>あやめ池へのあやめ植栽</p>	<p>公園西側「自然ゾーン」のメインエリアとして平成13年度に木道・ハッ橋等を整備し、平成14年度にはアヤメ、カキツバタ、ハナショウブなどを植栽している。(都開)</p>
<p>公園内の樹木の種類・本数等調査            公園内の散策に供し、樹木に関心をもってもらう。</p>	<p>千秋公園の主たる樹木についての本数は把握済み。また、平成14年度に千秋公園の西側を中心に整備した「自然ゾーン」へ植栽ラベルを設置している。(都開)</p>
<p>佐竹義宣公の銅像建立</p>	<p>記念碑などの建立物建設は、企画制作から費用負担に至るまですべてを行政が行い、それを市民に提供するのではなく、市民一人ひとりの自発的意志の高まりが集まることによって築きあげられることに意義があるものとする。主旨に協賛する市民により建立実行委員会等が作られ、募金運動を行うなど、自主的取り組みが前提であり、実行委員会としてもそれを側面支援することは可能である。なお、千秋公園再整備基本計画には、銅像建立の整備計画はないが、公園施設としては設置可能である。設置場所等については公園管理者との協議が必要である。(事務局・都開)</p>
<p>長岡安平翁の顕彰碑建立            千秋公園設計造園者である長岡安平翁の顕彰碑を県内、市内の造園業界に協力を仰ぎながら建立する。</p>	
<p>千秋公園市民演奏会の開催</p>	<p>千秋公園を会場として実施する場合については、公園管理者(市)と関連団体(例：市内の管弦楽団や小中学校のブラスバンド等)との調整が必要である。市民参加の音楽祭としては、15年度に実行委員会主催のプレ事業として県民会館を会場とした市民音楽祭を開催する予定である。(事務局)</p>
<p>久保田矢留城杯全国弓道大会の開催            毎年実施可能な権威ある大会を目指し、久保田矢留城杯全国弓道大会を行う。千秋公園内に仮設の舞台セットを作る。</p>	<p>提案にある権威ある大会とするためには、提案者が指摘しているように、毎年継続的に開催することが前提になる。しかし、千秋公園での開催では、仮設設備に相当の経費を要することから、毎年継続する際のかさむ経費に一考を要す。また、仮設設備等の安全面での配慮が必要。さらに、弓道連盟の全面的協力が不可欠である。なお、開催場所について、千秋公園にこだわらなければ、新設の県立武道場も考え得る。また、仮に単発のイベントとする場合、市民団体の主催であれば止むを得ないが、行政が主催すべきでないと考えられる。(教委)</p>

提案内容	提案内容に対する意見
<p>久保田城跡・千秋公園の調査研究の募集</p> <p>内堀・外堀の埋められた時期や公園化に伴う周辺部の状況変化など、久保田城跡・千秋公園に関する調査研究の募集とそれを支援する市関係資料レファレンスの窓口設置</p>	<p>久保田城跡・千秋公園の調査研究の募集を行う計画はないが、公園の整備・維持管理に関するワークショップについては、過去11回開催している。今後も整備・維持管理にテーマを絞り、開催していきたい。</p> <p>久保田城跡・千秋公園の歴史的側面での調査研究については、佐竹史料館の業務としてその情報収集を行いながら、印刷物や展示、講座などをとおして紹介し、問い合わせ等への対応を行っている。また、開発行為に伴う埋蔵文化財の調査を行うとともに、要望があれば研究者への関連文献の閲覧・貸し出しなどの対応を随時行っているところであり、調査研究を支援するレファレンス窓口の役割を果たしている。（都開・教委）</p>
<p>秋田の曲を用いたオルゴールの千秋公園への設置</p>	<p>オルゴールなどの建立物建設は、企画制作から費用負担に至るまですべてを行政が行い、それを市民に提供するのではなく、市民一人ひとりの自発的意志の高まりが集まることによって築きあげられることに意義があるものとする。主旨に協賛する市民により建立実行委員会等が作られ、募金運動を行うなど、自主的取り組みが前提であり、実行委員会としてもそれを側面支援することは可能である。なお、千秋公園再整備基本計画には整備計画はないが、公園施設としては設置可能である。設置場所等については、公園管理者との協議が必要である。（事務局）</p>

## 2．産業振興に関する提案と意見

提案内容	提案内容に対する意見
<p>秋田市全産業フェアの開催</p> <p>市内の農林水産工商といった全産業を一堂に会して、建都400年の歴史の中で培われた産業の力を内外に誇示する。</p>	<p>例えば、竿燈まつりの期間に合わせて、本市の農林・商工業に関する製品展示や生製品の販売等を行うことにより、市内外に対して本市産業をPRすることが可能。また、同フェアを中央街区の空き地等で実施し、観光客の本市への滞在時間の増と、駅から竿燈会場までのにぎわいの創出に努める。（商工・農林）</p>

## 3．市民参加型イベントに関する提案と意見

提案内容	提案内容に対する意見
<p>市内遊覧オープンバスの運行</p>	<p>公道を走行することから2～3台の連結車両は、交通関係の問題等があると考えられるが、普通のバスをオープンにしたものについての可能性はあると思われる。（商工）</p>

提案内容	提案内容に対する意見
<p>旭川での灯籠流し 市民総出による灯籠流しを行い、川との関わりを深め、市の発展を祈る。(ごみ処理にも配慮)</p>	<p>旭川の河川管理者によれば、下流にネットを張るなどごみ等に配慮すれば灯籠流しへの規制等は特にはない。(広島市など全国的にも実例あり)。(事務局)</p>
<p>遠州流記念茶会の開催 大名茶道と呼ばれ400年の歴史を持ち、格式ある茶道として今日まで受け継がれている遠州流の茶会を開催する。</p>	<p>建都400年記念事業として茶会を開催することは、意義深いことであるが、藩政期以来の伝統を持つ様々な茶道の流派が活動している状況から、流派単体での茶会は、それぞれの流派・団体による自主的な事業として実施することを基本とし、ロゴマークの使用などによる400年記念事業としての活性化を図るべきであると考え。(教委)</p>
<p>市民で作るモニュメント 市民参加型を目指したイベント。30センチ四方のタイルに家族の手形やメッセージ等を書き込み、それを積み上げウォールを作る。(場所は千秋公園や八橋運動公園、一つ森公園、大森山動物園等)</p>	<p>市民参加型イベントとして企画自体は検討の余地がある。実現については、モニュメントの設置場所について候補にあがっている場所を管理している市各部局との調整が必要。(事務局)</p>
<p>「久保田節」の全国大会開催</p>	<p>久保田節のみを対象とした全国規模の民謡大会の意義等について専門家等への意見を聞く必要があるが、秋田市文化団体連盟主催の秋田民謡全国大会が毎年開催されていることから、この大会との調整も必要である。(事務局) (解説)秋田の民謡家・永沢定治が節付けして生まれた新民謡。昭和25年、当時の市長であった児玉政介が引退する際、記念に歌詞を作り、永沢氏が既にあった唄の曲節を借りて替え唄にしたもの。</p>
<p>「佐竹公そっくりさんコンテスト」</p>	<p>佐竹義宣公の人物像や特徴等を文献等で把握するには限界があることや審査基準が不明確になるなど、多くの課題がある。(事務局)</p>
<p>皮膚病に関して頑張っている医者(日本中)の表彰</p>	<p>提案主旨は、皮膚病と今も闘っている医師を佐竹氏の代わりに時代を超えて感謝の気持ちを伝えるということであるが、文献等を見ても佐竹氏と皮膚病との関連が不明である。(事務局)</p>
<p>同姓間の交流・集いの開催</p>	<p>一部市民に特化した取り組みは実行委員会事業としては開催が困難である。(事務局)</p>
<p>あきたロシア国際音楽コンクールの開催</p>	<p>平成15年度に(仮称)建都400年記念秋田市民音楽祭を開催することとしており、そのなかでウィーンオペレッタ管弦楽団のゲスト参加も予定していることから、同趣旨の一流ソリストの歌声に触れる機会がある。(事務局)</p>

提案内容	提案内容に対する意見
<p>秋田市主催の総合美術展開催 全国公募にして美術・文化都市を全国にPRする</p>	<p>一般的に、公募展は継続的に開催されることによって、芸術活動の奨励がなされるものである。多額の賞金や買い上げを前提としたコンクール形式の場合もあるが、いずれも単発的に開催されているものではなく、継続的に開催されることにより、出品者はその展覧会の傾向やレベルを判断し、出品するのが通常である。美術を趣味とする方々の展覧会ならいざしらず、企画内容にあるような「美術・文化都市としての秋田市を全国にPRする」ことを目的とした全国公募展クラスの展覧会であれば、趣旨、対象、レベル、賞の扱いなどについて、全国の作家や今後の活躍が期待される人たちが目標とするような、魅力と内容を持ち、かつ、継続的展覧会を前提にしないと優れた作品はあつまらない。こうしたことから、明確な理念や展望を持たない、単発的なイベントとしての全国公募展であれば、市民団体が主催する場合は別として、行政が主催すべき事業ではないと考える。（教委）</p>
<p>秋田をテーマとした書道展の開催 作品を美術館や街角に展示する。</p>	<p>現在、小学生から出品できる全県的大規模な書道展は「秋田書道展」と、書も一部門をなす「秋田県美術展」がある。また、小・中・高生を対象とした「全県席書大会」、「全県新年かきぞめ展」のほか、各種教室や塾の展覧会も多く開催されている。このように、全県レベルの大会は、すでに多数有ることから、市民団体がイベントとしてこれを行う場合は、既存の書道展に400年記念事業としての冠を付けることも含め、前述の展覧会関係者、学校教育関係者、書道関係者などに意見を求めた上で、可能性を探る必要があると考える。（教委）</p>
<p>建都400年をテーマとした写真コンクールの募集</p>	<p>歴史的節目である建都400年記念の年に、日常の市民の暮らしぶりを捉えた写真を通年にわたり記録することは、未来へ向けたメッセージとなりうる。コンクール形式等、手法は様々であるが、写真というツールを用いたイベントに発展できないか検討の余地はある。（事務局）</p>
<p>中・高・大・一般を対象とした建都に関する作文募集</p>	<p>各種一般公募イベントについては、実施する意義や内容を精査する必要があるが、小中学校や関係団体等の協力を得ながら、実現可能なものについては開催を検討する。（事務局）</p>
<p>秋田市建都400年記念歌の募集</p>	
<p>小説、作文、詩、短歌、俳句、川柳など秋田市建都400年にまつわる文芸作品の募集</p>	

提案内容	提案内容に対する意見
秋田県内の伝統ある祭り行事を一堂に集める。	秋田の祭りが一堂に集まることは非常に魅力あるものである。しかし、能代市のおなごりフェスティバル・十和田国境祭・竿燈時の県内太鼓の競演等のように、既に同趣旨の事業が行われていること、伝統ある祭りの魅力は、特定の場所と日時で行われることにより醸し出されているものであり、本来の祭りから切り離して祭りを実施することは、その魅力を削ぐ可能性も大きい等問題点も多く、事業の意義付け・演出等を含め、慎重に検討する必要がある。 また、各祭り関係者の協力を得られるかどうかも課題である。（教委・商工）
秋田祭りフェスティバル 県立球場で夜竿燈、陸上競技場で盆踊りの競演、ラグビー場で港まつり等々を開催する。	各祭り関係者の協力を得られるのであれば実現の可能はあるが、事業の意義付けや演出等について慎重に検討する必要がある。（商工）

#### 4 . 歴史に関する提案と意見

提案内容	提案内容に対する意見
オペラ及びミュージカル 仮題「みちのく秋田に花開く蘭画、佐竹の功績」の上演	提案主旨は、知的概要は元琴丘町教育長の石井善三氏による佐竹公が秋田に蘭画の花を咲かせたその背景を楽しく分かりやすく後世に語り継ぐためオペラ上演である。提案者のコンセプト等がしっかりしていることや、提案者自らが作曲家（交響詩利根川322など作曲）であり、その音楽担当を務めることが可能であるなど、実現に向けた要素もあるが、既に秋田市文化団体連盟による市民創作オペラの実施が予定されており、オペラの重複開催は実現は困難。（事務局）
ミュージカル佐竹物語の制作・上演	15年度に秋田市文化団体連盟による市民創作オペラの実施が予定されており、これを記念事業のイベントと位置づけている。（提案者からの内容等について具体的な提案はなし）（事務局）
オペラ「あきた竿燈物語」の上演	
記念新能の上演	武家式楽として継承されてきた能は、400年記念事業の趣旨にふさわしい事業である。平成15年度にも室内能として「県都開創400年記念能公演」が行われる予定であるが、千秋公園等、歴史の面影を残す場所を会場にした新能の開催が実現すれば、建都400年事業の魅力が高まるものとする。事業の性格上、市民団体を主体とした企画・実施を基本とし、公演内容などを精査した上で、財政支援等の必要性を検討すべきと考える。（教委）

提案内容	提案内容に対する意見
<p>城が完成し、湊から移る行列の再現 湊城から土崎の曳山を先頭に市民思い思いの仮装で一日がかりで久保田城下を目指す。久保田城下でも市民仮装や竿灯を各所で行う。手形方面からは祝いのぼんでん行列など一日お祭り騒ぎ。観光客もまた参加できる楽しいイベントにする。</p>	<p>当時の様子を再現した大名行列の実施は、馬や武具、装備品等の手配や準備に多くの時間と経費を要する。また、交通機関や警察等との調整も必要であり、規模が大きいほど実現は困難な現状にある。昔の街道などを辿り歩くことは可能と考える。(秋田歩け歩け大会実行委員会において同趣旨の企画あり)</p>
<p>羽州街道(参勤交代の道)行脚 スケジュール等に余裕を持たせ、地元の歴史等に詳しい人達を配しながら、往事の佇まいを偲ぶことの出来るような時間に余裕のあるラリーを開催する。</p>	<p>14年度に佐竹氏入部400年を記念し、羽州街道ウォーク実行委員会主催による「羽州街道ウォーク」が実施された。この企画をベースに、より歴史的観点を充実させた内容にするべきとの提案であるが、実現に向けては、市民団体や協賛企業等による運営体制を構築するとともに、一定の経費も必要となるため、羽州街道ウォーク主催者の意見等、調整が必要である。(また、秋田歩け歩け大会実行委員会において、15年度湊城から千秋公園までを歩く大会が企画されている。)(事務局)</p>
<p>市民参加による大名行列の開催</p>	<p>当時の様子を再現した大名行列の実施は、馬や武具、装備品等の手配や準備に多くの時間と経費を要する。また、交通機関や警察等との調整も必要であり、規模が大きいほど実現は困難な現状にある。昔の街道などを辿り歩くことは可能と考える。(秋田歩け歩け大会実行委員会において同趣旨の企画あり) また、流鏝馬については、実施場所や関係団体など、実現の可能性について調査検討する。(事務局)</p>
<p>佐竹大名行列・400年前から現代</p>	
<p>武者行列および流鏝馬</p>	
<p>記念講演および記念シンポジウムの開催</p>	<p>事業形態としては、佐竹氏秋田入部から久保田城入城、先進的町割りなど本市まちづくりのルーツを主題とし、その足跡を辿る記念シンポジウムが想定される。講演者やパネリストは、本市はもとより、東京や常陸太田市などから有識者を招へいし、それぞれの視点から本市の成り立ちを検証する。平成16年度の本番へ向けた市民意識の高揚と記念事業への布石という視点から、「プレイベント」と位置づけ、建都400年実行委員会主催のプレ事業として15年度に実施する。(事務局)</p>
<p>歴史に関する講演会の開催 県内3か所所で建都PRのための講演会を開催する。</p>	
<p>全国の殿様大会の開催</p>	<p>提案目的等具体的説明がなく、具体的な対応が困難。(事務局)</p>
<p>秋田市・常陸太田間入部ロードスタンプラリー</p>	<p>提案目的等具体的説明がなく、具体的な対応が困難。(事務局)</p>

提案内容	提案内容に対する意見
「佐竹本三十六歌仙絵巻」の同時展示	佐竹本三十六歌仙絵巻は大正8年に切断されて以来、今日では、既に所蔵者不明のものもあり、全体を把握し展示することは不可能といわれている。所在が明らかな作品でも、大多数が国の重要文化財指定を受けており、展示借用の為に、しっかりと企画内容を示し、輸送、開催会場の人的体制・展示設備・防災体制などについても国の理解を得ながら、所蔵者との間で慎重な交渉と調整を重ねる必要がある。また、評価額もかなりの高額になるものと考えられることから、予算的裏付けや、企画内容が決定されていない現段階では、16年度の開催は不可能である。（教委）
佐竹義宣の生きた時代、ライバル（伊達政宗や豊臣秀吉、徳川家康等）の甲冑展示	佐竹義宣の生きた時代については、14年度に、入部400年記念特別資料展「佐竹氏とその時代」を開催し、市民に紹介したところである。また、伊達政宗・豊臣秀吉・徳川家康など戦国期大名の代表的な甲冑は、そのほとんどが重要文化財に指定されており、その扱いについては、佐竹本三十六歌仙と同様の理由で16年度開催は不可能である。（教委）
佐竹氏に関する資料展等の開催 佐竹氏史料展や秋田蘭画展 佐竹本三十六歌仙資料展 (NHKで放送された特集番組の再上映)	佐竹資料展については、建都400年に先駆けて、H14年度に入部400年記念特別資料展「佐竹氏とその時代」を開催しており、重複する展示内容となることから、開催の必要はないと考える。秋田蘭画展についても、同時期に他美術館との間で展示作品が重複しており、収集が困難。佐竹氏ゆかりの資料の中で、極めて重要かつ魅力に富む佐竹三十六歌仙絵の資料については、常設展示や企画展示の中で、複製・書籍・映像等の関連資料を組み込むなどの方法で、紹介していきたい。NHKのドキュメンタリー番組である絵巻断絶 - 佐竹本三十六歌仙絵巻 - の再放送化については、NHK秋田放送局を通じ働きかけを行うことも検討する。（教委）

## 5 . 施設整備に関する提案と意見

提案内容	提案内容に対する意見
土崎神明社祭の曳山行事の史料館建設	曳山や北前船に関する史料館建設は、伝統文化の継承や観光資源としても大きな意義を持つものであるが、財政事情や市全体における文化施設・観光施設の整備における位置づけ等が不明確な現状では、16年度中に建設計画を具体化することは困難であると考えられる。 しかし、久保田城下町建設における土崎の果たした役割の大きさや、曳山行事、北前船の持つ歴史性等から、今後において、史料館建設を含め、地域・市民の議論を深めるべきテーマの一つと考える。（教委）

提案内容	提案内容に対する意見
秋田美人館の設立	ハード面について、既存の施設の活用であれば可能とも考えられるが、新たに施設を建設することは財源面等から困難と思われる。また、具体的に集客できるだけのソフトの検討が難しい。(商工)
秋田駅内飾り付け。駅前に祝賀塔を立てる。	秋田駅東西連絡自由通路内については、歩行者の通行に支障のない範囲で行政財産使用許可で対応する。(都開)
久保田城の復元	築城時の久保田城を復元するためには史跡の発掘調査等を伴う調査研究が必要であり、長期の計画的事業として実施すべきものである。また、千秋公園再整備基本計画(H9策定)との調整が必要であるが、整備計画には歴史的建造物の整備として門3箇所の築造計画はあるが、城の復元をする計画はない。(教委・都開)
仁別国民の森付近に久保田城を中心とした町割り(ミニ久保田城下)を再現する	仁別国民の森という久保田城との関わりの薄い場所に新たに施設を整備することの必然性と、アクセスや道路の整備等問題のある場所での実施は難しい。また、千秋公園再整備事業および他公園事業も含めて提案のような整備計画はない。(商工)

## 6 . 都市景観・まちなみに関する提案と意見

提案内容	提案内容に対する意見
川反に架かる橋を朱色にする	当該地区は公園都市秋田市をつくる条例(H15.4.1からは秋田市都市景観条例)に基づき、都市景観地区に指定されており、都市景観整備計画に基づく整備を行っている。この都市景観整備計画の中には、橋の色彩についての基準はないが、実施にあたっては当該地区全体の都市景観形成の観点から慎重に検討する必要がある。 また、実施にあたっては、地区関係者や市民の意見を十分に聴き、合意を得る必要がある。 (但し、歴史的な観点からみると当該地区の橋を朱色にするという根拠は不明)(都開)
寺町・西善寺の鐘(県重要文化財)の音復活	(現在、鐘はヒビが入って使用不可) 鐘の音を復活させるには、鐘のレプリカ鋳造のみならず鐘楼の建設等も必要となる。このことは、本来、鐘の所有者である宗教法人西善寺が判断すべきことである。(教委)

提案内容	提案内容に対する意見
<p>由緒ある旧町名復活運動の促進</p>	<p>(歴史的意義の観点から)  現在の町名は、町の発展に合わせて、住居表示審議会を経て複雑な町名を整理したものであり、旧町名への変更は容易なことではないと考える。しかし、旧町名は貴重な歴史遺産であり、教育委員会では旧町名を文化財として残すため、旧町名標柱の設置を行っている。なお、旧町名の復活運動の促進について建都400年を契機に論議がなされることは、意義あることと考える。(教委)</p> <p>(住居表示の観点から)  旧町名を実際の住所、所在地として復活させることは、住居表示に関する法律に基づき、既に実施した住居表示の変更手続を経ることで可能であるが下記の課題がある。  住居表示は、住所を整然と誰もが分かりやすいように整備する必要があることから、実施する場合には地区全体を同時に変更しなければならない。(大町地区であれば、大町一丁目から六丁目まですべて変更)  住居表示実施後の新しい町名も定着し、市民になじんでいることや、市民および事業者は住所変更に伴う煩雑な諸手続が必要となるので、地域住民の総意が得られるか。  道路等を境界とする街区方式により住居表示を実施しているが、住居表示実施前のおり旧町名を復活させるには、これまでとは違う整備方法(道路方式)を用いなければならず、方式の一貫性がなくなり、市民の混乱を招く恐れがある。  これらの課題をクリアするには十分な時間が必要なことから、16年度の事業化は困難である。なお、旧町名の継承については、再度の住居表示ではなく標柱の設置などで対処すべきである。(市民生活)</p> <p>(建都400年を契機とした観点から)  旧町名復活については、スポット的に住居表示変更を行っている金沢市や開府400年を記念して旧町名を道路のニックネームとして復活させた仙台市など、歴史的に由緒ある各都市において、様々な手法により推進されている。また、住居表示に俗称として旧町名を位置づけるといった手法もあることから、建都400年を機に実現の可能性等について調査・検討する余地はあると考える。(事務局)</p>

## 7. 記録・刊行物等に関する提案と意見

提案内容	提案内容に対する意見
<p>佐竹義宣公を主題にした映画制作 映画監督に北野武を起用し、佐竹義宣公を扱った映画を作成する。</p>	<p>映画製作については、十分な準備期間と多大な経費が必要であり、有名監督を起用した映画化等は現実的に困難。（事務局）</p>
<p>郷土愛と先人の偉業を知らしめる作品の映像化 「梅津正景日記」と司馬遼太郎「街道をゆく(29)秋田県散歩」を映像化し、県内教育機関等に配布し、秋田の将来を担う青少年にその中身を理解させるとともに、郷土愛と先人の偉業を広く知らしめ、未来の指導者の育成の一助とする。</p>	
<p>記念映画の制作 秋田の風土と「佐竹氏・安東氏」にスポットをあて、作家土居氏による脚色で市民がエキストラで出演する映画の制作</p>	
<p>エコーはがき（広告はがき）の販売 建都400年記念式典時に図案を公募した広告はがきを発行する。</p>	<p>秋田市民から全国の身近な方などへ建都400年を広く情報発信できるツールの一つである。秋田中央郵便局や東北郵政局との調整が必要であるが、平成16年の広告媒体として予算化について検討する余地のある企画と考える。（事務局）</p>
<p>佐竹義宣グッズの作成、販売</p>	<p>建都400年関連商品の製作・販売等については、商工会議所や民間企画を基本に慎重に審議する必要がある。今後部会等を通じ、商品化について検討を加えていく必要がある。（事務局）</p>
<p>佐竹氏、建都400年記念グッズの（通信）販売</p>	
<p>転入者に対する歴史的資料等の配布 転入者の地域の歴史と秋田市との関連を強調した文章やパンフレットを作成し、転入者へ配布する。 転入者の前住所地と秋田市の歴史的エピソードをデータとしてパソコン等にストックしておき、該当する記載があった場合は、プリントアウトして渡す。</p>	<p>佐竹史料館作成の印刷物や、秋田市文化財保護協会作成のパンフレット等の他、既に『佐竹氏物語』『常羽有情』など佐竹氏に関する数多くの書籍が出版されているほか、現在も新聞等で特集記事が組まれている。また、「秋田市史 近世通史篇」が14年度中に刊行されることから、あらためて行政がパンフレットを作成し、全戸配布の必要はないと考える。（教委）</p>
<p>佐竹一族に関するパンフレット作成・全戸配布</p>	

提案内容	提案内容に対する意見
<p>佐竹氏(家)総覧誌の発刊 県内各地に分散収蔵している佐竹家に関わる様々な資料を一冊にまとめた総覧誌の発刊</p>	<p>市史編さん事業は平成17年度までの事業であり、その計画の中に組み込んで実施することは、現行では困難である。佐竹氏(家)関係資料は、県内にとどまらず全国に所在することから、具体的にどのようなものにするか十分検討すべきであり、その内容次第によっては、委員会の設置や大幅な予算等が必要となる。佐竹氏(家)関係資料の多くは、佐竹史料館で収集・保存しており、収集資料以外の情報についても把握している。(企画)</p>
<p>秋田市各地域の著名先人顕揚 「広報あきた」へのシリーズ企画または小冊子として刊行</p>	<p>市内各地域にどのような著名先人がいるかの資料がないため、どの程度面白い企画になるか判らない。面白い企画になるかどうかは、先人の業績やキャラクターやどのくらいの資料が残っているかによると思われる。シリーズ化するとしても10回程度になると思われるので、人選は難しい。連載シリーズを組むのであれば、各地域というよりも、その時代・時代に、秋田にとって大きな功績を残した人物の検証が面白いのではないか。広報あきたで何かしらの400年シリーズはやってほしいと思われる。(企画)</p>
<p>漫画で綴る秋田市の歴史 秋田市の歴史がどう変遷していったか漫画での秋田市大河ドラマを作成する。漫画シナリオを作成し、漫画はプロに依頼をする。</p>	<p>秋田市出身漫画家である倉田よしみ氏の執筆による漫画を実行委員会主催事業として制作する。建都400年の歴史の中に、築城に伴う旭川の改修や外町・内町の町割りをはじめ、竿燈まつりの由来や秋田蘭画の成り立ち、戊辰戦争や奥羽列藩同盟等の藩政終焉に至るまでのエピソード等を描きながら、まちづくりを検証していく。しかしながら、淡々と歴史を描くのではなく、義宣公や義和公といった名君やその時代に暮らす人々の人物描写を採り入れることで、子供から大人まで学べて楽しめる作品とする。(事務局)</p>
<p>「ふるさと切手」発行の要請 建都400年を市の内外に宣伝でき、また市民にとってもよい記念となる記念切手の発行について、関係機関へ要請する。</p>	<p>秋田市民から全国の身近な方などへ建都400年を広く情報発信できるツールの一つである。秋田中央郵便局や東北郵政局との調整が必要であるが、平成16年の広告媒体として予算化について検討する余地のある企画と考える。(事務局)</p>

## 8. 未来に向けた取り組みに関する提案と意見

提案内容	提案内容に対する意見
<p>建都400年を記念する石碑の建立</p>	<p>記念碑などの建立物建設は、企画制作から費用負担に至るまですべてを行政が行い、それを市民に提供するのではなく、市民一人ひとりの自発的意志の高まりが集まることによって築きあげられることに意義があるものとする。主旨に協賛する市民により建立実行委員会等が作られ、募金運動を行うなど、自主的取り組みが前提であり、実行委員会としてもそれを側面支援することは可能である。なお、千秋公園再整備基本計画には、銅像建立の整備計画はないが、公園施設としては設置可能である。設置場所等については、公園管理者との協議が必要である。(事務局・都開)</p>

提案内容	提案内容に対する意見
次なる400年への主張発表大会	提案主旨は、賢女として陰の力が語り継がれている佐竹公夫人を人間倫理の教訓として、「新世紀を支え育てる女性文化」をテーマに次の400年への主張発表大会を開催するというものであるが、現代社会における重要テーマである男女共生を主題とした「男女共生フォーラム」を、15年度にイベントとして開催する予定である。(企画)
秋田市歴史と未来博覧会の開催	美術館や史料館などの本市文化施設において、建都400年に併せた各記念資料展や展示会開催について検討する。(事務局)
土崎地区の再整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街の再整備や駐車スペース確保</li> <li>・セリオン付近への店舗型施設建設</li> <li>・大型駐車場を備えたコンサートホールの建設</li> <li>・土崎 - セリオン間に無料循環バスを走らせる</li> </ul>	商店街活性化対策については、秋田市が施策に基づき種々の事業を実施している。(事務局)

## 9. その他の提案と意見

提案内容	提案内容に対する意見
秋田建都400年記念の暖簾の作成。全戸配布	全戸配付については、多大な経費が必要なことや、多くの市民ニーズに対応した製品でないと意義は薄い。(事務局)
記念事業の一般参加会員の募集 一般にも広く理解する会員を広く募集する。	会員形式ではないが、市民主体・市民参加を具現化するため、事業計画確定後、イベントや式典等の運営に関するボランティアの募集について準備を進める。(事務局)
モニター制度の導入 一般会員から100人程度モニターを選び意見を参考にする。	各界各層の市民代表者で構成する実行委員会および実務委員会、各部会等において提出された意見を可能な限り反映する。(事務局)
建都の歴史を守る委員会の制定 委員会を作り企画・運営する。	秋田市建都400年記念事業実行委員会を設置し、実施に向けた準備を行っている。(事務局)
合い言葉の募集	キャッチコピーを「日本にあきた la Akita」とし、今後PR等に活用していく。(事務局)

提案内容	提案内容に対する意見
<p>野外ロックイベントの企画・実行 大規模な野外ロックイベントの実施</p>	<p>ロックイベントの実施については、基本的には民間が企画・運営する主催イベントが想定される。主催者側との調整により建都400年記念イベントと冠を付けることは可能であるとする。 (事務局)</p>
<p>県内で子供をたくさん作った夫婦の表彰 子供が出来なかった佐竹氏の気持ちを少子化問題と並行して考える機会を作る。</p>	<p>少子化対策については、行政として第3子以降の保育料免除や0歳児の保育料無料化など種々の施策に取り組んでいる。少子化問題と佐竹氏との関わりをテーマを同時に扱う講演は難しい。 (事務局)</p>
<p>三十三館斬殺の謝罪 茨城県南部の住民に対し、市長が謝罪する。</p>	<p>歴史的出来事との関連性において根拠がなく、実施は困難である。 (事務局)</p>
<p>講演および本の出版 (義宣公が短気だったという提案者の主張を踏まえ) 以前は短気だった人が今は気が長くなった人を募集して、その裏技を講演、または本にする。</p>	<p>歴史的根拠が薄く、実施は困難である。 (事務局)</p>